ロッキー通信No.7

「プライオン　思いを力に！」

学校教育目標：「豊かに育つ生徒」
～「挑戦」と「創造」～
校　　訓：「求学・親和・創造」

R7.5.21(水)発行　文責　校長　六山　和弘

５月１８日（日）、第７９回体育大会が無事に終了しました。
奇跡を起こした生徒たちが、本気の挑戦、本物の創造に臨みました

こんなに開催までに気を揉んだ体育大会があっただろうか・・・。
こんなに一体感を感じた体育大会があっただろうか・・・。
こんなに多くの人たちに見ていただくことに誇らしいと感じたことがあっただろうか･･･。
こんなに生徒の姿やはじける笑顔が愛おしいと思ったことがあっただろうか・・・。
そんなことをしみじみと感じた体育大会であった。
素直に感動した。生徒たちの輝きがとても眩しかった。
どんなに素晴らしいドラマにも、映画にも、絶対に負けない本物の感動があった。
躍動した姿に、歓声に、心から「ありがとう！！」
もちろん、これらを支えた陰の力があったことも忘れない。
気づいただろうか・・・？
生徒に寄り添いながら一緒にこの行事をつくってきた先生方の姿が、本番ではほとんど目立つことなく、見守りと応援に徹していたことを・・・。
気づいただろうか・・・？
PTA役員の皆さんが、おそろいのロゴ付きのTシャツを作成して、さりげなく来賓受付や接待等で陰ながらこの行事を支えてくださっていたことを・・・。

何度でも言いたい、「感動をありがとう！！」
このワンチームの取組が、偉大な自然に勝利した原動力であったと確信できた。
この学びを今後に活かしていきたい・・・。

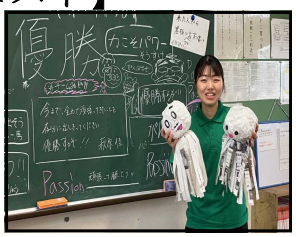
【忘れないでほしい「有り難いエピソード」３選】

その１：決して諦めない生徒と先生方の姿があったこと。土曜日の午前中は中止レベルのグラウンドを、スポンジで水抜きをして土を入れてコンディションを整え、テントや入退場門を立てラインを引き、準備を行った先生方や部活動生徒の陰の努力があったことを。

その２：市内唯一残る縦割り集団による応援合戦。大変だからと無くなっていく中、「歓迎行事」「ひまわり計画」「生徒総会」と行事が立て続く多忙な中に、必死で伝統を守り抜いた、堀尾先生、宮﨑先生を中心とした生徒会担当の先生方の苦労と努力があったことを。そして、それに応えようと努力し創意工夫した応援団長や各リーダーたちの姿があったことを。

その３：リレーで常勝のチームがあった。練習ではいつもトップであったが、当日はバトンミスにより勝利をつかむことができなかった。その際、応援団長が「ミスを責めるな。言うな。」と全員に言い聞かせる姿があったことを。

【第７９回西大村中学校体育大会名場面ダイジェスト】



《素敵な看板をありがとう。美術部のみなさん。》

体育大会の輝き、そして頑張りを、次の自分の生き方につなげてほしい。
そのために大切なこと。それは、「切り替え」と「新たな目標設定」です。

令和7年度第79回の体育大会、まさに生徒たちがつくりあげた行事となりました。改めて感じたのは、生徒たちの素直で誠実な姿と、この行事を通じて成長した姿でした。もちろん、そこにはご指導いただいた先生方の様々な仕掛けがあったことは言うまでもありません。ご覧いただいた今回の体育大会は、まさに生徒たちと先生方が思いを一つにしてつくりあげた「チーム西大村」の力であったと確信します。

それから、今年も大勢の保護者の皆さまやご来賓、地域の方々が足を運んでくださり、生徒たちに思いを寄せていただいたことも大きな喜びとなりました。

生徒たちは、地域の宝であり未来への希望となる存在です。

生徒たちをさらに高みに導くためには、私たち大人が協力・協働していくことが肝要だと考えます。

保護者の皆様、地域の皆様、どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。

さて、生徒の皆さん。この体育大会の輝きを、そして頑張りを次につなげていくためには、「切り替え」と「新たな目標設定」が大切です。過去の栄光に固執することなく、次の栄光を成し遂げるためにも、「切り替え」をして「新たな目標」に向けて、次の一歩を踏み出してください。

令和７年度体育大会

お疲れさまでした。
そして、感動をありがとう。

５２０名の頑張りで
チーム西大村の輝きを
しっかり表現できた素敵
な一日となりました。
そして、また次の「目標」
を目指して歩き始める時、
大切なのは、
「切り替え」です。
今、この瞬間から
また、あなたの新たな
ステージが始まるのです。
これからの学校づくりと
自分づくりに向けて
決して乗り遅れるな。

まずは、日課を戻し、昼休みのリフレッシュタイムをスタートさせたい。脳内を整理させ、「それぞれの生徒の学び」を充実させるために、みんなで協力してほしい。

次なる皆さんの「自ら行動、達成して感動する姿」に期待します。